

室内レクリエーション

昼食
バイキング

4月22日と23日に毎年恒例、春の昼食バイキングが行われました。旬の食材が並び、今年も一番人気は天ぷらやエビチリなどのエビ料理でした。そんな食べられますか!?と心配する声も何のその、ご馳走が目の前に並びと食欲も増し、お代わりを何度もしていました。(22日:ご入居者様39名参加、23日:ご入居者様43名参加)



『十周年のご挨拶』

『グローバルライフ生石』は八月一日をもって開所十周年を迎えました。今日までのご支援に対し深く感謝申し上げます。開所時より『入居者が主人公』の運営理念のもと、私たちはご入居の皆さまにそれぞれの状況にふさわしい介護サービスの提供をすることで、自宅と同じように、ごく自然で穏やかな日常生活を送って頂けるよう心掛けて参りました。そして、この十年間一日も休むことなく、愚直に理念を唱和して参りました。理念曰く「介護サービスの基本は『入居者が主人公、徹底して介護させていただく』:これがすべてである。どんな小さな仕事にも全力を尽くせ。『そこまでやるの!』常にこのことを心に刻み入居者の皆さまに接するとともに、介護・看護の仕事を実践していただくことをお願いします」

この理念を胸に、今後とも『気づきの心』を大切に、知識や経験を積み重ね、介護のプロ集団として信頼して頂ける人作りを目指します。その上で『グローバルライフ生石』は敬愛、実践、信頼の精神を堅固に守りながら、より理想的な介護付居住施設を目指し、一層奮励努力致します。

どうぞ今後とも変わらぬご支援をお願い致しますとともに、ご指導ご鞭撻の程、衷心よりお願い申し上げます。

介護付有料老人ホーム
グローバルライフ生石
施設長 平野修一

アロマ
セラピー

リラクゼーション、ストレッチ、健康維持、疲労回復などの効果が得られるアロマセラピーは行事の中でも人気です。聴覚、嗅覚、皮膚からの吸収によって得られる効果は施術後の皆さんの表情を見れば一目瞭然です!!



皆様のおかげをもちましてグローバルライフ生石も開設以来十年目の節目を迎えることができました。

顧みますと十年前の平成十六年は、平成十二年の介護保険創設から間もないこともありまだまだ手探りの施設運営状況でありました。

また、七十九年ぶりの鳥インフルエンザの発生、自衛隊イラク派遣、拉致被害者五名の帰国、年金未納問題など大きな事柄があった年でもありました。

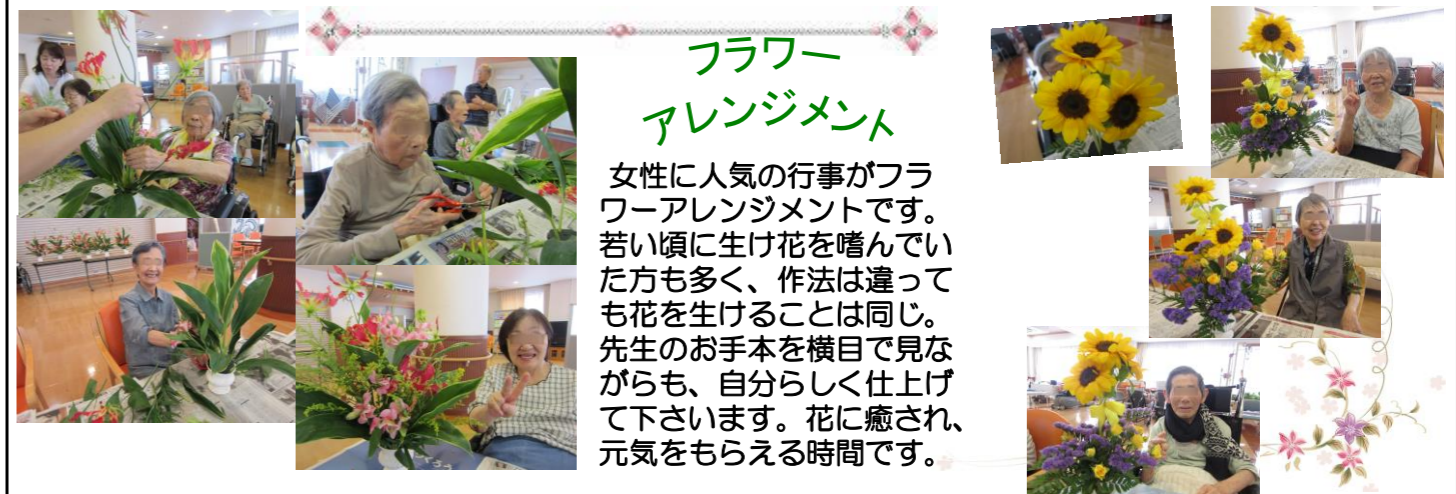
その後、平成二〇年には少子化の影響により、日本の人口がピークを迎えその後毎年人口減少が続いており、さらに今年、持続可能な社会保障制度の確立を図るため、四月から消費税が5%から8%に引き上げられ、六月には医療介護総合推進法が成立するなど高齢者福祉を取り巻く環境も大きな変化があったところであります。

このような大きな環境変化の中グローバルライフ生石は、これまで通り「笑顔、挨拶、一人ひとりで大家族」をモットーに、変わらぬことを大切に、明るく楽しい皆様の我が家となるよう施設長を中心に職員一同より一層努めて参ります。引き続きよろしくお願い申し上げます。

介護付有料老人ホーム
グローバルライフ生石
相談役 佐藤公明

フラワー
アレンジメント

女性に人気の行事がフラワーアレンジメントです。若い頃に生け花を嗜んでいた方も多く、作法は違っても花を生けることは同じ。先生のお手本を横目で見ながらも、自分らしく仕上げてください。花に癒され、元気をもらえる時間です。



施設開設十周年の節目を迎えて

この度、施設開設十周年の節目を迎えるにあたり、これまでの皆様方による、当施設への暖かいご支援・ご協力に対して、厚く御礼申し上げます。

当施設は、平成十六年八月一日より介護事業に新規参入して、数多くの関係者様よりの確なご指導を賜りながら、これまで施設運営を続けて参りました。

現在、入居状況は満床状態にあり、入居申込を既にされて、入居待ちを頂いている皆様には、大変ご迷惑をお掛けして申し訳なく思っております。

皆様方より頂きました、このご恩を忘れることなく、微力ながら大分県内の介護事業の発展に貢献できるように努めて参りますと共に、引き続き県内ナンバーワンの施設運営を目指して、全職員がそれぞれの部署にて、最善を尽くして参ります。

今後とも、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本当に有り難うございます。感謝

介護付き有料老人ホーム
グローバルライフ生石
事務長 荻野敏朗

7月7日
☆七夕☆

7月7日の七夕では事前に短冊や飾り付けをした笹と記念撮影を。職場体験に来ていた大分西中学校の生徒さんと一緒に作った七夕飾りは、また一味違った思い出になったようです。

